

日立製作所のお膝元、茨城県常陸那珂港。「RORO船」とよばれる大型運搬船が月に2〜3回、海外に向けて出港する。積み荷は日立建機の油圧ショベルやトラック。建機は現在、日立グループ最大の輸出品だ。

日立の輸出は10年ごとに主役が交代してきた。30年前はカラーテレビ、20年前は半導体、10年前は薄型テレビだった。「日本からモノを大量輸出する時代は終わった」。会長中西宏明(68)は言う。長中西宏明(68)は言う。長中西宏明(68)は言う。

だが、中西にも日本の

# 革新力 The Company

変える意志④

世界中から買いに来い



クロスエフェクト 竹田社長

## 日本には俺たちがいる

方、国際収支統計による

が、どれも中心にモノが

「予行演習」ができる。

位置づけはまだみえな

米国は貿易赤字国。だ

手を持った基板に右手で

断層撮影装置(CT)テ

研究的に農業と医療、教

と日本は昨年の貿易収支

ネジをはめ込む滑らかな

「予行演習」ができる。

長中西宏明(68)は言う。

がGEやボーイングなど

動きはまるで映画に登場

断層撮影装置(CT)テ

だが、中西にも日本の

方、国際収支統計による

が、どれも中心にモノが

「予行演習」ができる。